



大阪・関西でのビジネス化に向けた 今後の展望について

2024年12月17日
大阪府 商工労働部 成長産業振興室 産業創造課

大阪府版ロードマップ（2022年3月策定）

2022年度 2023年度 2024年度 2025年度 2026～29年度 2030年度

〇ーンチ ◆ EXPO 2025



これまでの取り組みと主な成果

✓ 事業化に必要な実証実験・検証を着実に推進

- 飛行に関する検証
 - ①万博での飛行空域を想定した風況等の調査
 - ②ヘリコプターを活用した飛行シミュレーション
高度な気象情報提供システムの検証
 - ③実機を用いた有人での試験飛行による運航オペレーションの検証
気象や離着陸場等の情報を含めて運航管理システムの検証
- 離着陸場に関する調査
 - ①既存ヘリポートを活用した事業性調査
 - ②都市部における離着陸場整備の検証
 - ③離着陸場候補地の選定に係る調査
- 事業性に関する検証
 - ①マーケティング調査
 - ②ヘリを活用したモニター調査
 - ③具体的な運航ルートや離着陸場候補地の選定

✓ 社会受容性の向上を図るデモフライトの実施や出前授業、シンポジウム等の開催

✓ 広域でのビジネス展開を見据えた府県域(大阪府⇄兵庫県)を跨いだ事業の検証

2 離着陸場の整備

- ✓ 日本初の常設の空飛ぶクルマ専用離着陸場の整備
- ✓ 府内での離着陸場整備に向けた事業者の参入支援

3 事業環境の整備

- ✓ 大阪・関西での市場規模や経済波及効果に関する調査の実施・結果公表
- ✓ 「空飛ぶクルマ 離着陸場ガイドブック」の作成

4 社会受容性の確保に向けた取組の推進

- ✓ 府民全体の認知度、利用意向は着実に向上
《実績（「おおさかQネット」調査結果より）》
認知度：R4年度 29.2% R5年度 76.7%
利用意向：R4年度 16.3% R5年度 26.8%
- ✓ 府内市町村でも社会受容性向上に向けたイベント等の開催

5 ステークホルダーとの連携

- ✓ 大阪ラウンドテーブルの運営
- ✓ （令和6年12月現在 91社・団体の参画）
- ✓ 共同した実証事業の実施など、異業種間の新たな協業や共創
- ✓ 市町村における万博を契機とした誘致などに向けた取組の開始

1 実証実験に向けた環境整備
(実証実験の推進)

空飛ぶクルマを取り巻く社会状況の変化

✓ **大阪版ロードマップ策定からの2年半で、ビジネス化に向けた取組みは着実に進展**

✓ **一方、空飛ぶクルマを取り巻く事業環境や社会環境にも変化が生じている**

- 機体認証等の状況を踏まえたローンチ時期やビジネス構想の公表
- 国内外の他都市における社会実装に向けた取組みの進展
- 住民を交えた地域レベルでの取組みの広がり

⇒ これまでの成果を踏まえ、日本初のビジネス化に向けて
次のステップを踏み出すための新たな指針となる

「大阪版ロードマップ2.0」 の策定へ

- 機体数が限られることから、特別な体験として高付加価値の移動を提供するビジネスモデルの想定
- 「観光分野」での高い利用ニーズ ※大阪府調査(「おおさかQネット」)の結果より
- 大阪・関西を訪れるインバウンドの増加
- 関西全域に広がる、歴史と自然にあふれた魅力的で豊かな観光資源
- 大阪を中心として、海上や河川上を通して関西各地へと運航ネットワークを形成できる、運航に適した地理特性

**万博後の大阪・関西において
まず利用者ニーズのある 観光分野 で
全国に先駆けたビジネス化を推進**

➤ **関西各地域が連携して観光地などを結ぶ**
運航ネットワークの形成

- ✓ 観光分野における ビジネスモデルの構築
- ✓ 観光関連サービス提供事業者等への 商品化に向けた支援
- ✓ ネットワーク形成のための インフラの整備促進



～ 大阪から未来の空へ ～